

問い合わせ先

総務部政務課制作評価広報室

海上保安報道官 一條正浩

(電話03-3591-9780)



海上保安庁

平成23年3月11日

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震への対応等について
(第2報)

平成23年3月11日2200現在

海上保安庁の今回の地震における対応等については、別添のとおり
です。(下線部分は第1報からの変更点)

1. 体制

1450 海上保安庁対策本部設置

第二、三、四、五、十管区海上保安本部対策本部設置

第六、七、九、十一管区海上保安本部対策室設置

1500 第一管区海上保安本部対策本部設置

第八管区海上保安本部対策支援室設置

2. 被害状況

釧路 コンテナ船「LONG MOON（約42000トン）」が漂流中（タグボート手配中）

大船渡 転覆船1隻（人員不明）

気仙沼 1名漂流

気仙沼 タカハマ 家屋に1名乗って漂流

気仙沼 大島瀬戸 3隻漂流（人数不明）

石巻 建造中の船が漂流（80名乗船）海保ヘリ3機、巡視船いずが対応中

塩釜 はしま沖漁船 乗組員9名のうち4名不明

亘理 荒浜漁港 漂流者有り（人数不明）

福島 中之作 1名ブイに掴まって漂流中

鹿島 貨物船「GOLDEN GRACE（積荷：パラキシレン、約6000トン）」が無人のまま漂流中

千葉 コスモ石油LPGタンク炎上中、消防船ひりゅう、巡視艇あわ

なみ、海上災害防止センター「おおたき」「きよたき」対応中

3. 対応状況

- 巡視船艇・航空機により北海道～沖縄県の太平洋側沿岸域被害状況調査及び救助活動実施中
- 1501～1544にかけて地震・津波に関する日本航行警報、NAVTEX警報済み
- ・政府緊急災害対策本部の設置受け、1514日本海溝型地震動員計画を発動

4. 対応勢力（出動準備中を含む）

巡視船艇 322隻（巡視船94隻、巡視艇228隻）

航空機 44機（固定翼16機、回転翼29機）

特殊救難隊 10名

5. 当庁船艇・航空機・施設等の被害状況

（1）巡視船艇の被害状況について（二管区）

宮城くりこま 係留索切れ漂流（無人）、港口付近の塩釜信号所至近において船首を150度に向け右舷に傾斜状態。座礁しているものとみられる。

宮城ざおう 係留索切れ漂流（4名在船）、定係地付近で投錨済み。

（2）航空機・航空基地の被害状況について

①仙台基地

1600 津波一波来襲、職員2階へ避難。基地機能不能。電話不通。

MH907 テールブーム損傷、浸水

MA869 (ビーチ350) 浸水

MA854 (ビーチ200) 浸水

②整備工場 (ジャムコ、仙台市)

回転翼機1機が転倒、固定翼機1機及び回転翼機1機調査中

(3) 施設の被害状況について

①二管本部庁舎

停電中。1階給水ポンプ停止。5、7階の内部壁に横亀裂。

一般市民の避難受入れ中

②二管各部署庁舎

青森 停電中。

釜石 電話不通

福島 停電中。1階浸水中

宮古 電話不通

石巻 電話不通

気仙沼 電話不通

鹿島 浮棧橋が流出